

令和元年度 学校教育自己診断 [最終報告]

【教職員用】

令和元年 9 月 18 日実施

【保護者用】・【児童生徒用】

令和元年 9 月 18 日実施

報告日：令和 2 年 2 月 3 日

大阪府立岸和田支援学校

令和元年度学校教育自己診断報告概要

1 教職員アンケートについて

- ①項目 2 「学校は分掌再編をととして業務内容の業務を見直し、精選を進めている。」について
肯定的評価が前年度に比べ 24% 上昇して 72% となった。学校全体を通して取り組んでいることが教職員の意識として現れてきていることがわかった。
- ②項目 6 「学校は居住地交流において、交流および共同学習について、適切な進め方をしている。」
「学校は学校間交流において、交流および共同学習について、適切な進め方をしている。」に変更した。
前年度に比べ、14% 減少している。学校間交流における交流および共同学習については、道半ば、これからも改善すべき余地があることが見て取れる。
- ③項目 8 「学校は系統立てた指導を見直し、教育課程の改善を行っている。」を新設した。
新学習指導要領において支援教育においても系統立てた内容が謳われている。本校においても検討を進めているので、教職員の意識を調査した。肯定的な意見が 7 割であり、さらに取り組むべき必要性がわかった。
- ④項目 12 「学部間での丁寧な引継ぎ等の連携ができています。」
肯定的回答 74% で例年並みの結果となった。否定的回答をした教職員にその理由を記述式で求めた。

教職員アンケート「学部として、学部間での丁寧な引継ぎ等の連携ができています。」 C, D 回答理由		
C, D と回答した理由		学部
1	学部間で引き継ぎ会は行われているが、指導の継続性には疑問がある。	小
2	以前に比べ（引き継ぎ会議の）時間が短縮され、丁寧とは言えない。	小
3	（引継ぎの）体制はとっているが、十分かどうかはわからない。	小
4	表記なし 4	小
5	表記なし 2	中
6	引継ぎ内容が色々分かれ過ぎていてわかりにくい。	高
7	表記なし 5	高
8	表記なし 2	他

それぞれの学部の教育課程の違いを相互に理解が不十分なことが要因と推測できた。系統立てた小中高の教育課程を作成する中で教職員の意識を改善したい。

さらに各学部においても検討を行った。

（小学部）コーディネータの校内支援を活用し、他学部への進学後に引き継ぎで困ったことなどあれば、それぞれの学部のコーディネータが連携し、フォローする。

（中学部）学部間の交流を深める。

（高等部）毎年、作成している引継ぎ資料に記入項目を設定して内容にもれのないように改善した。

2 保護者アンケートについて

- ① 本年度は内容の変更はない。

- ② 項目5「発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育（キャリア教育）の推進ができています。」は肯定的評価が前年度に比べて11%減少した。

- ② 項目6「居住地校交流を希望すれば適切に進められている。」は肯定的評価が前年度に比べて10%減少した。

- ③ 項目12「学校経営計画・学校運営協議会があるのを知っている。」肯定的評価が前年度に比べて6%減少した。

回答されなかった設問について、その理由を記述式で求めた。集計結果は別紙に記述する。

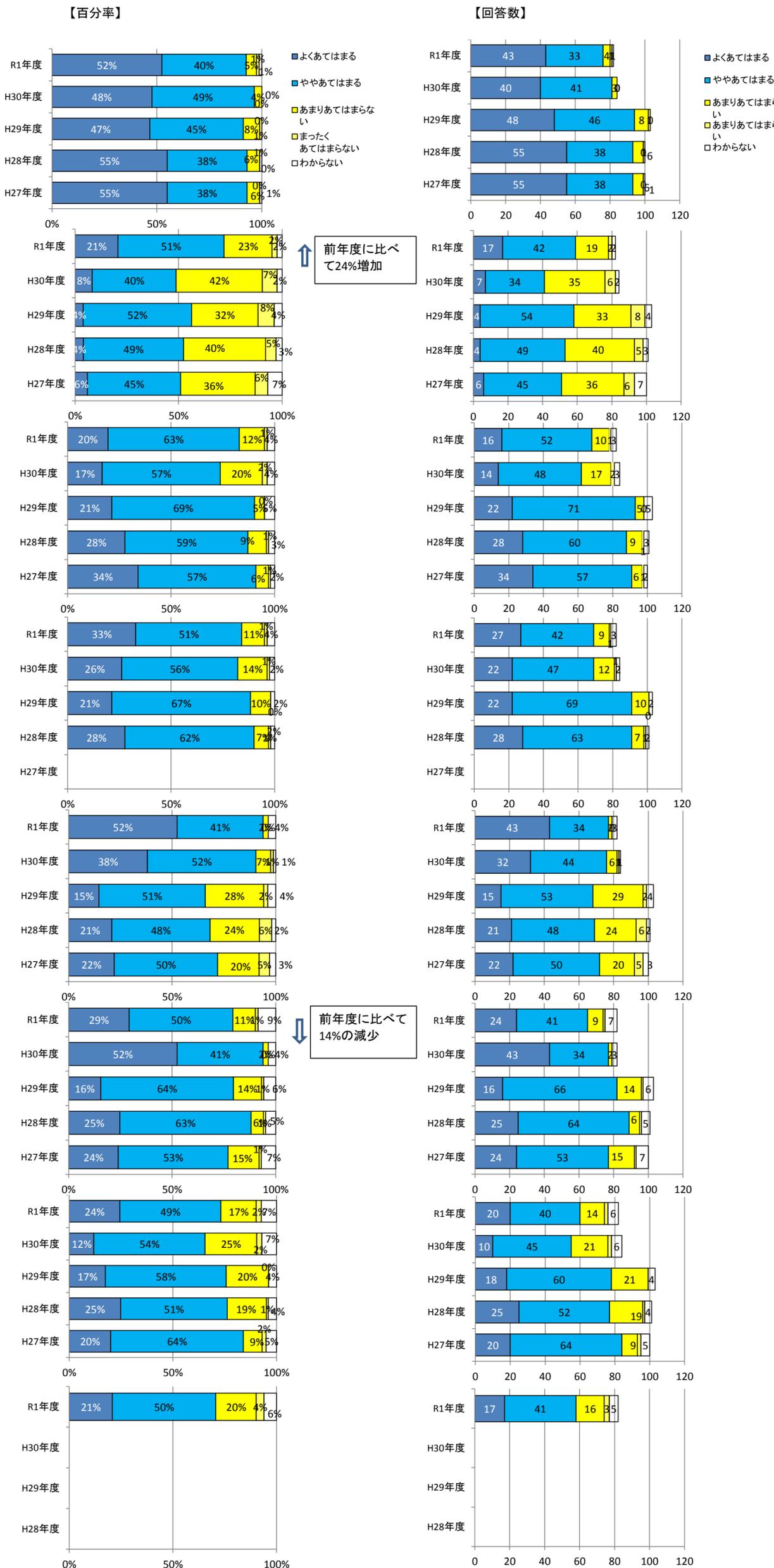
3 児童生徒アンケートについて

- ① 内容、結果は例年とほぼ変わらない。

- ② 「楽しく思うことはなんですか。」と記述式で求め、別紙にまとめた。本年度も友だちや先生とのやり取りが楽しく、授業や自立活動、いろいろな行事を楽しく思って通ってこられているのがわかりました。回答に協力ありがとうございました。

平成30年度	常勤教職員数 = 87	回答数 = 82	回答率 = 94%
令和元年度	常勤教職員数 = 84	回答数 = 82	回答率 = 98%

診断内容
1 本校の教職員は所属以外の児童生徒にも気軽に挨拶をしている。
2 学校は分掌再編をととして業務内容の業務を見直し、精選を進めている。
3 学校は授業力向上と授業改善に向けた取組に積極的に取り組んでいる。
4 学校は学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。
5 学校は楽スタやタブレット型PC等の新たな指導システムの導入活用に積極的に取り組んでいる。
6 学校は学校間交流において、交流および共同学習について、適切な進め方をしている。
7 個別の教育支援計画をもとに個別の指導計画を作成し、実施後速やかに評価して次の指導に活かしていく、PDCAサイクルが、学校として確立できている。
8 学校は系統立てた指導を見直し、教育課程の改善を行っている。

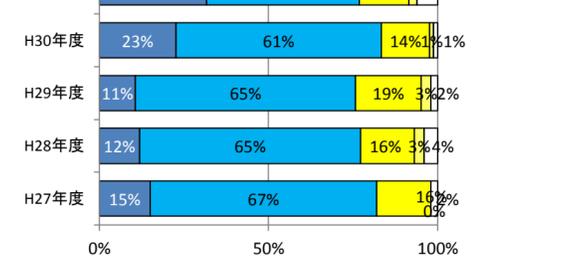
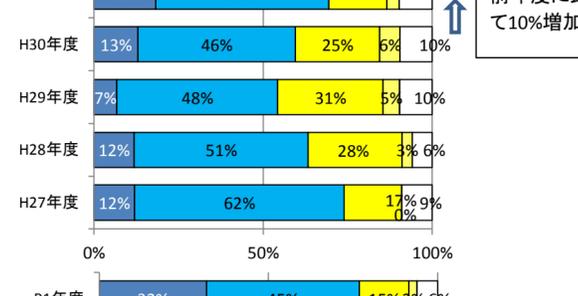
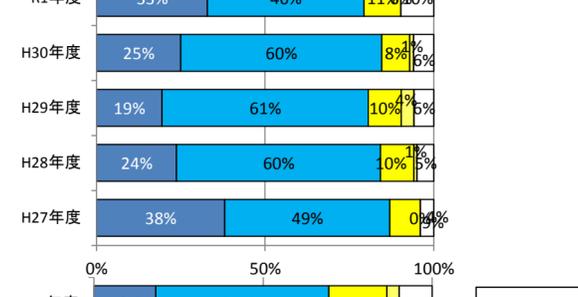
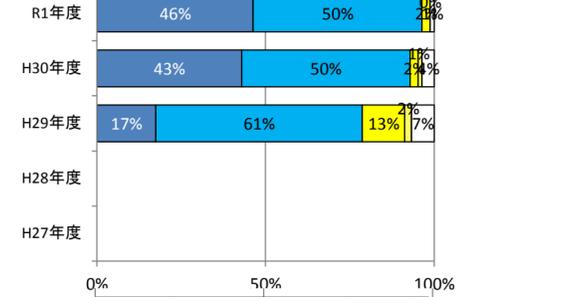
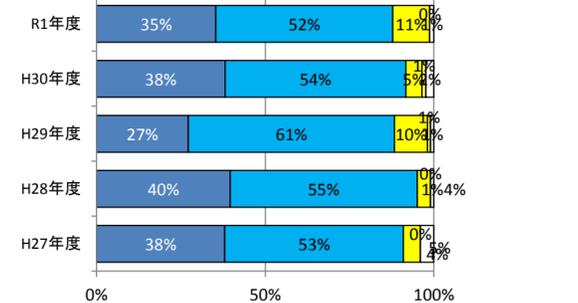
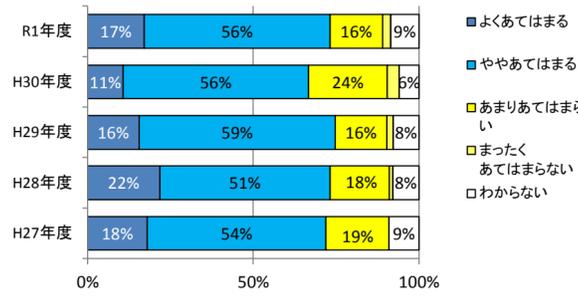


令和元年度 学校教育自己診断 教職員 5年間比較

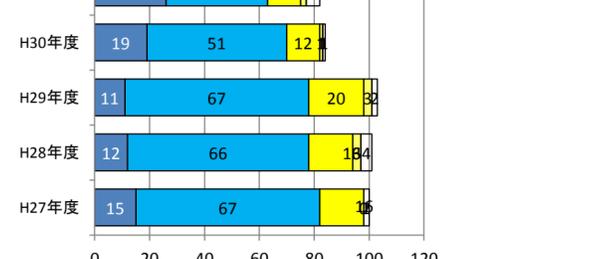
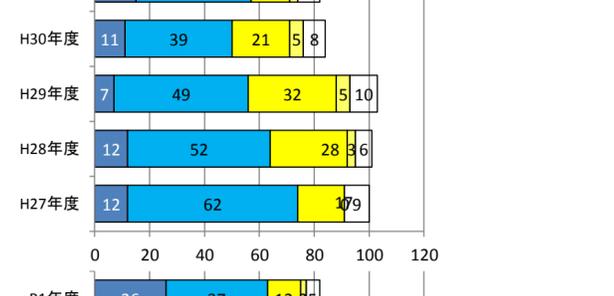
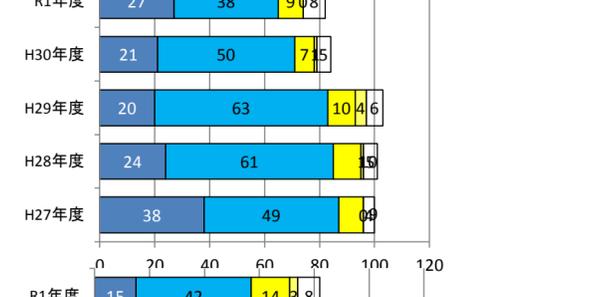
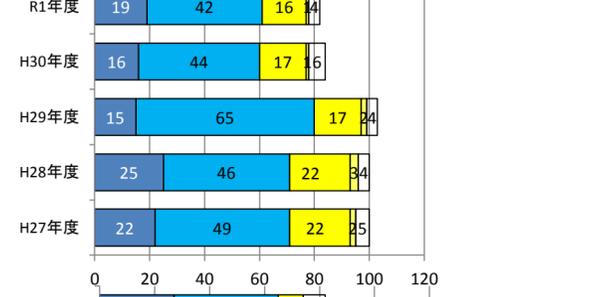
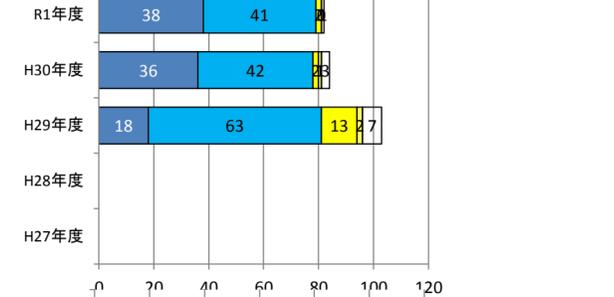
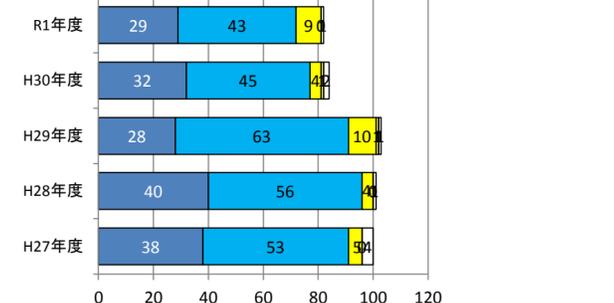
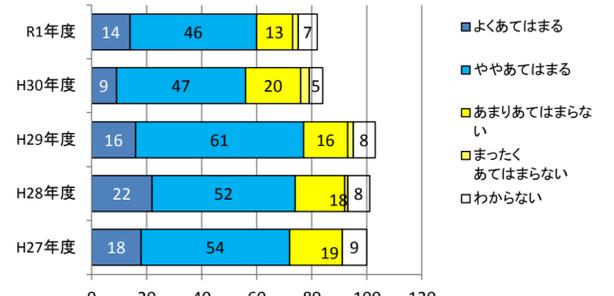
平成30年度	常勤教職員数 = 87	回答数 = 82	回答率 = 94%
令和元年度	常勤教職員数 = 84	回答数 = 82	回答率 = 98%

診断内容
9 学校は発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができています。
10 学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。
11 学校は子どもの体調の急変や怪我、いじめについてもすぐに気がつける体制を整えている。
12 学校として、学部間での丁寧な引き継ぎ等の連携ができています。
13 学校は進路・生活支援や支援教育に関する情報を保護者に十分に提供している。
14 学校は地域を支援できる人材と体制を整えている。
15 学校は肢体不自由支援学校として必要な専門性を持っている。

【百分率】



【回答数】

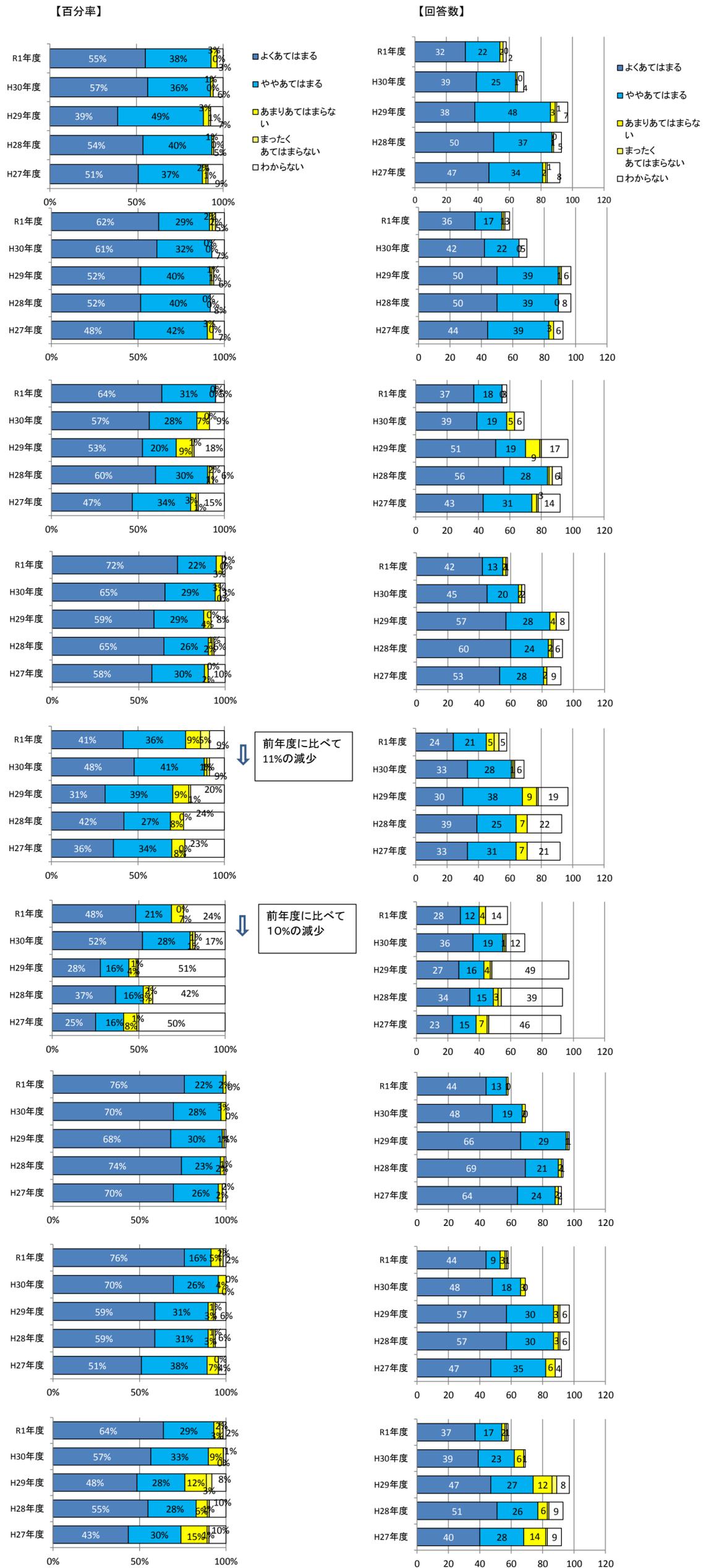


平成30年度学校教育自己診断 保護者 5年間比較

作成日 令和1年11月5日

平成30年度 在籍数 = 104	回答数 = 69	回答率 = 66%
令和元年度 在籍数 = 90	回答数 = 58	回答率 = 64%

診断内容
1 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。(表情から読み取れる。)
2 自立活動は、子どもの実態に即して適切に実施されている。
3 学校はあいさつの大切さ、思いやりの心、生命を大切にする心、ルールを守る態度を育てる授業に取り組んでいる。
4 学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。
5 発達段階に応じて身近自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができています。
6 居住地校交流を希望すれば適切に進められている。
7 通知票は学習の状況(様子)が適切に評価されてわかりやすく書かれている。
8 学校は個別の教育支援計画にもとづいて適切な支援を行っている。
9 肢体不自由児の特別支援学校としての十分な専門性がある。

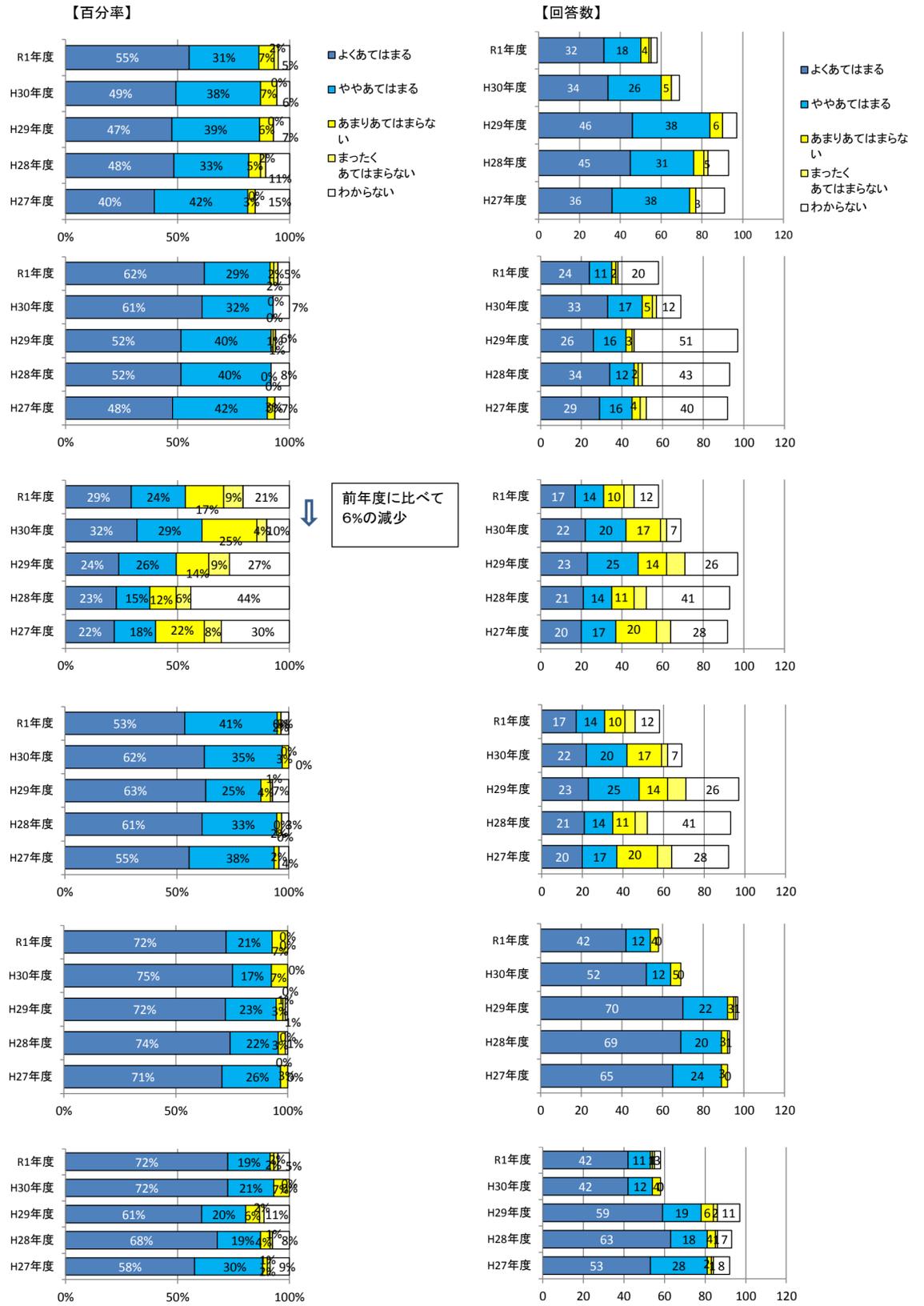


平成30年度学校教育自己診断 保護者 5年間比較

作成日 令和1年11月5日

平成30年度 在籍数 = 104	回答数 = 69	回答率 = 66%
令和元年度 在籍数 = 90	回答数 = 58	回答率 = 64%

診断内容
10 学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。
11 医療的ケアは、子どもの実態に即して適切に実施されている。
12 学校経営計画・学校運営協議会があるのを知っている。
13 学校は保護者が学校の様子を見に来る機会を十分に設けている。
14 担任、担任以外の先生も気軽に挨拶をしてくれる。
15 子どものことで悩んだときに、担任・学校と適切に相談できる。(いじめがあったときも同じように相談できる。)



教職員アンケート「学部として、学部間での」学な引継ぎ等の連携かできている。」 C, D
回答理由

	C、Dと回答した理由	学部
1	学部間で引き継ぎ会が行われているが、指導の継続性には疑問がある。	小
2	以前に比べ（引き継ぎ会議の）時間が短縮され、丁寧とは言えない。	小
3	（引継ぎの）体制はとっているが、十分かどうかはわからない。	小
4	表記なし 4	小
5	表記なし 2	中
6	引継ぎ内容が色々分かれ過ぎていてわかりにくい。	高
7	表記なし 5	高
8	表記なし 2	他

保護者アンケート 回答されなかった理由 集約

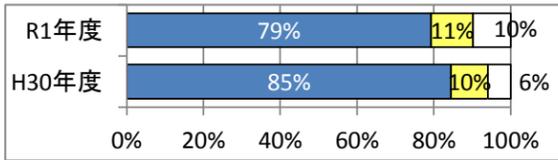
	アンケート項目	回答をしなかった理由	人数
1	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。（表情から読み取れる。）	今年は授業参観に行けなかったため	1名
3	学校はあいさつの大切さ、思いやりの心、生命を大切にする心、ルールを守る態度を育てる授業に取り組んでいる。	参観などでは、あまり時間もなく、取り組んでいるか不明なため	1名
6	居住地校交流を希望すれば適切に進められている。	希望したことがないのでわからない 高等部で該当しないのでわかりません（高）	7名 1名
10	学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。	まだ進路のことを関心を持って見ていなかったから（小）	1名
11	医療的ケアは、子どもの実態に即して適切に実施されている。	子どもが医ケアを受けていませんので、判断できません。 医療的ケアが必要な生徒は、通学バスに乗れないから。	10名 1名
12	学校経営計画・学校運営協議会があるのを知っている。	知らなかった場合、Dに○なのかよくわからなかった。 知らないから	2名 1名
	8、9、10、11、12、15	高等部から入学したので支援学校の事、まだ把握できていないことが多くある。	1名

【教職員】【保護者】の質問項目のうち、内容が近い項目について今年度と前年度の変動の程度を示しています。
 (質問項目については、今年度分と前年度分で若干表現が異なっている項目があります。)

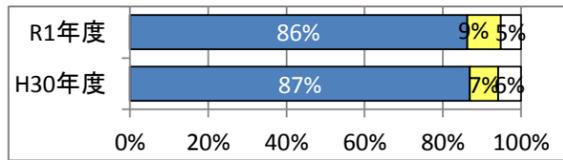
【教職員】

【保護者】

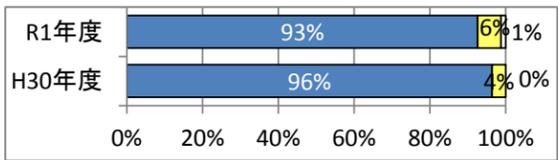
13 学校は進路・生活支援や支援教育に関する情報を保護者に十分に提供している。



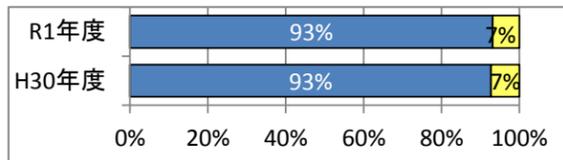
10 学校は進路懇談会や広報誌「やまもも」などで将来の進路や生活支援・支援教育に関する情報を適切に提供している。



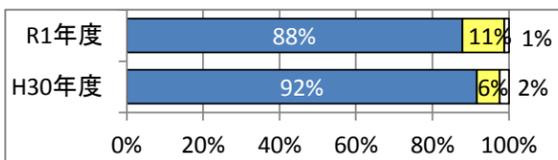
1 本校の教職員は所属以外の児童生徒にも気軽に挨拶をしている。



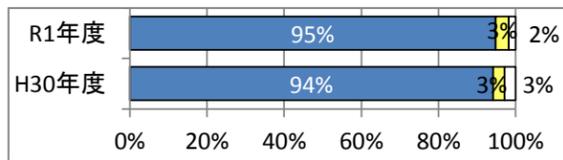
14 担任、担任以外の先生も気軽に挨拶をしてくれる。



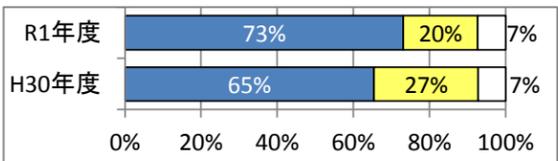
10 学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。



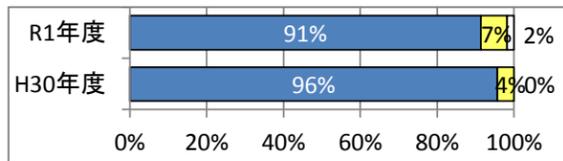
10 学校は子どもの人権やプライバシーに十分配慮して指導している。



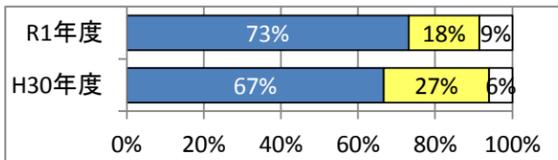
7 個別の教育支援計画をもとに個別の指導計画を作成し、実施後速やかに評価して次の指導に活かしていく、PDCAサイクルが、学校として確立できている。



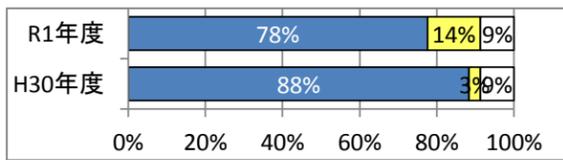
8 学校は個別の教育支援計画にもとづいて適切な支援を行っている。



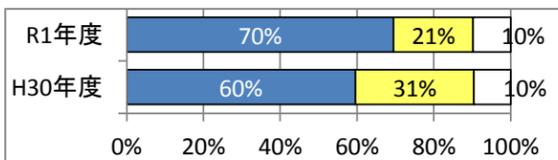
9 学校は発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができている。



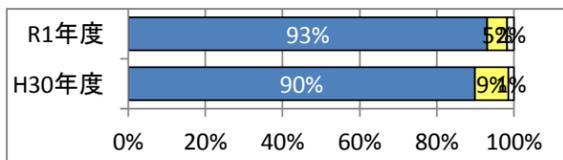
5 発達段階に応じて身辺自立に関する指導やソーシャルスキルおよび将来設計など生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができている。



15 学校は肢体不自由支援学校として必要な専門性を持っている。



9 肢体不自由児の特別支援学校としての十分な専門性がある。

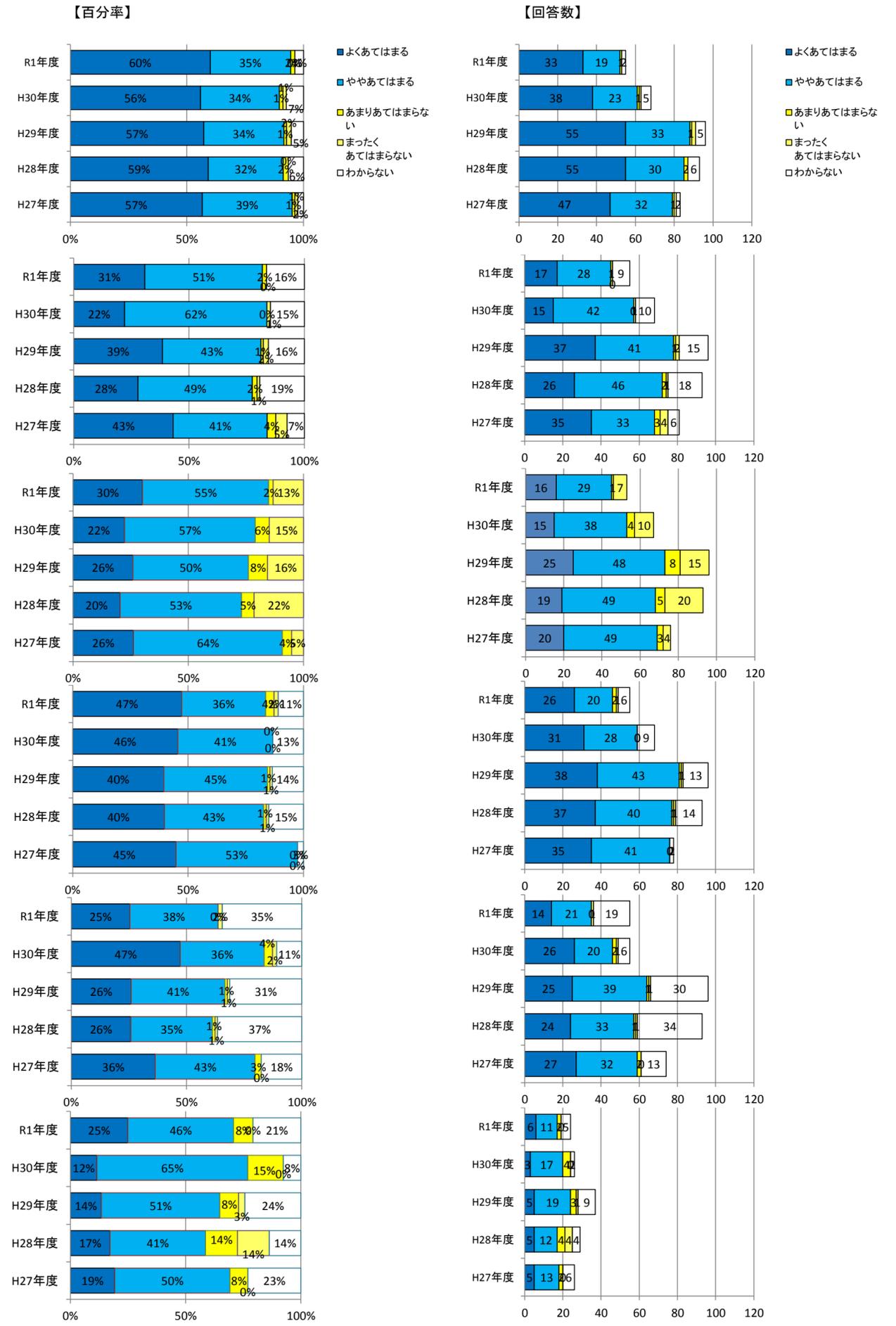


令和元年度 学校教育自己診断 児童生徒 5年間比較

作成日 令和1年11月5日

令和元年度	児童生徒数 = 90	回答数 = 55	回答率 = 61%
平成30年度	児童生徒数 = 104	回答数 = 68	回答率 = 65%

診断内容	
1	学校に行くのが楽しいですか。
2	学校に仲のいい友だちがいますか。
3	学校での勉強はわかりますか。
4	先生は自分たちの話をよく聞いてくれますか。
5	他の学校との交流会は楽しいですか。
6	卒業したあとの生活について具体的に考えていますか。(高等部のみ、お答えください)



児童生徒用

楽しく思うことはなんですか。具体的にお書きください。

小	給食、宿泊学習、遠足、運動会、友だちに会える事
小	お友だちと一緒に何かをすることが楽しいようです
小	楽しいと思います。バスを待つ時でもニコニコしたりする
小	友だちとの関わり
小	勉強、先生との会話のやりとり
小	「うたをうたってくれること」と伝えてきてます
小	いろいろな事を経験させてくれる。給食でいろいろなメニューを食べられる
小	授業、給食。お友だちや先生と過ごす時間が楽しいようです
小	全部。朝から嫌がったそぶりをしたことはありません
小	授業・運動会・学習発表会
小	勉強、給食、運動会、発表会、遠足、朝の会はキライ
小	勉強、給食、遠足 e t c。学校大好きです。先生が大好きです。
中	自活と体育
中	行事が楽しいそうです
中	○おしゃべりができるのがたのしい。すうがくたのしい。こくごもたのしい。じりつかつどうもたのしい。
中	給食、遠足、宿泊学習
高	勉強 お友達
高	勉強やともだちといろいろなことがたのしい！
高	学校に行くこと、ともだちや先生に会うことが楽しい。
高	先生がたとのかいわたのしいのようです。えんそくとしゅくはく とともたのしみにしています。
高	友だち、給食
高	勉強、給食、運動会
高	○バスが楽しい
高	勉強、自立活動、運動会
高	勉強、電動車いすの練習、手の運動、友だちや先生とおしゃべりすること
高	校外学習
高	給食、運動会、学習発表会、遠足、宿泊学習、修学旅行
高	○行事や友だちとはなししているときはたのしいです
高	バスに乗る事、給食、授業
高	家から出て違った場所（学校）で先生や友だちと会える
高	○授業を受けている時や友だちや先生と話している時や給食をみんなで食べている時が楽しいです。
高	学習発表会、校外学習、宿泊学習、ホームルーム
高	○校外学習
高	遠足、宿泊学習
高	勉強、宿泊学習
高	給食

○は児童生徒記入

友だち 11、勉強・授業 11、給食 10、宿泊行事 8、遠足 7、先生 7、運動会 6、学習発表会 4、自立活動 4、おしゃべり 3、体育 1、ホームルーム 1

本年度も友だちや先生とのやり取りが楽しく、授業や自立活動、いろいろな行事を楽しく思って通ってこられているのがわかりました。回答に協力ありがとうございました。